

日刊建設通信新聞（2023年5月10日付3面掲載）

【施工は西松JV、監理はオリコンサルグローバル マニラ首都圏地下鉄CP102工区が起工】

マニラ首都圏地下鉄
CP102工区が起工
施工は西松JV、監理は
オリコンサルグローバル
フィリピンのマニラ首都圏
地下鉄CP102工区の起工



式が4月28日、バウティスタ運輸大臣など同国要人らが出席して現地で開催された。写真。施工は西松建設と現地企業のDMCIの共同企業体。施工監理はオリエンタルコンサルタンツグローバルが担当する。

経済の急速な発展と一極集中により交通混雑が悪化の一端をたどっているマニラ首都圏に、同国初の地下鉄を建設するこのプロジェクトは、日本政府のODA（政府開発援助）資金と無償資金協力で実施されている。総延長は34キロ、2028年の開業を目指し、複数の工区で集中的に工事が進められている。

今回起工した102工区は、ノースアベニュー駅からケソンアベニュー駅を経てイーストアベニュー駅に至る約3.2キロのシールドトンネル工事。ケソンアベニュー駅とイーストアベニュー駅の二つの駅舎工事も含む。契約金額はJV全体で約512億円、うち西松建設の持ち分は約343億円となる。工期は28年11月20日まで。